

会 議 記 録

会議名称	第8回忠類地域住民会議
開催日時	平成29年7月14日（金）13:30～15:33
開催場所	忠類コミュニティセンター児童室
出席者	委員長、委員14名中出席者10名、事務局4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 議案第1号 第6期の提言に向けた今後の協議について ・地域おこし協力隊の導入について 4 閉会
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> 【地域おこし協力隊の導入方法について】 ・地域おこし協力隊の賃金は国の補助額である年間200万円が一般的というが、町が手出しをして上乗せしてはどうか。住居費、車の貸与など付加的なものを免除することも考えては。 ・Uターンを考えている人の中から探せば、3年の任期が終わった後に定住、定着する可能性はある。 ・妻帯者、家族持ちで、子どもがいるとなお良い。夫婦がそれぞれ協力隊として活動するのも良いのでは。 ・定着できる何の事業をするかで、給料は二の次で良いのではないか。やはり地元の人との協力が必要。 【分野別の活用方法について】 ○観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・広告宣伝に精通、特化した人が必要。忠類を発信するノウハウを持った人が欲しい。 ・シーニックカフェのオープン期間が半年間に延びればもっと人を呼び込める。 ・YouTuber(ユーチューバー)に農業体験、商工関係、シーニックなど体験しながら発信してもらおう。忠類だけでなく何キロ圏内の発信とか、枠組みから離れなければ良い。 ・LIVEカメラをシーニックカフェに付けたら良いのではないか。 ・数あるシーニックの中でも忠類は特別。継続に協力隊が力になれるなら良い。 ・シーニックばかりでなく、今あるイベントも見直す時期に来ている。 ・借りたいのは知恵か、労働力かをはっきりさせた方が良い。 ・観光資源、農業体験など田舎を発信し、定住を取り持つ協力隊を迎えられれば良いと思う。

○子育て、教育

- ・「勉強」より「勉強の仕方」を、スポーツの「技術」ではなく「身体をつくる」ことを教える人が居てくれると、どの分野でも成立できる。
- ・技術は後からついてくるので、子どもが自分から楽しんでやるように向けると上手くいく。
- ・ナウマン象記念館に迎えるなら、専門家でなくても太古の世界が好きな人であれば良い。

○農商工

- ・どこでも同じような作物を作っている中、ブランド化等々が必要。「ここで特別美味しいものが食べられる」とか、経費はかかるが特殊な作り方を世に出していても面白い。

○高齢者活動

- ・老人クラブ、高齢者大学に人が入って来ない。方向性を変えて完全に交際の場とするのも良いかもしれない。